

研究課題名	<b>活性型組織トランスグルタミナーゼ検出による新規腎病理診断法の確立とその意義の検討</b>
研究の目的と意義	<p>腎臓疾患は腎生検を行い診断いたします。我々は、患者さんの一部で組織トランスグルタミナーゼという酵素が腎炎の悪化に関係することを見出し、その簡便な検出法を名古屋大学大学院創薬研究科との共同研究にて開発いたしました。</p> <p>この研究は、腎生検を当院でされた患者さんを対象に、腎臓での組織トランスグルタミナーゼ活性を測定し、病気との関連を調査いたします。また、血液や尿にどのような影響を与えているかも調査いたします。</p>
研究の方法	<p>2010年1月1日から藤田保健衛生大学病院で腎生検を受けた患者さんについて、当院に保存している腎臓の組織をごく一部を用いて検査いたします。また、一部の患者様では同様に当院に保存されている血液・尿のごく一部を用いて検査いたします。また、患者さんの診療録（入院・外来カルテ、病理組織所見）を用いた調査を行います。この検査・調査によって、患者さんに新たな検査をお願いすることや診療費が発生することはありません。本研究は、藤田保健衛生大学倫理委員会の承認を得て実施されています。</p>
倫理的配慮	<p>データ収集の際、あなたの診療情報については氏名などの個人情報がいられることはなく削られ、代わりに新しく符号がつけられます（匿名化）。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、藤田保健衛生大学医学部腎内科学において管理担当者が厳重に保管します。</p> <p>研究の成果は専門の学会や学術雑誌に発表を行います。個人情報外部に公表されることは一切ありません。</p>
研究機関 研究責任者	<p>藤田保健衛生大学医学部腎内科学（〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98） 藤田保健衛生大学医学部腎内科学教授 湯澤由紀夫</p>
問合せ先 TEL 担当医師	<p>0562-93-9245（月～金 9:00～17:00）藤田保健衛生大学医学部腎内科学医局 講師 高橋和男</p>